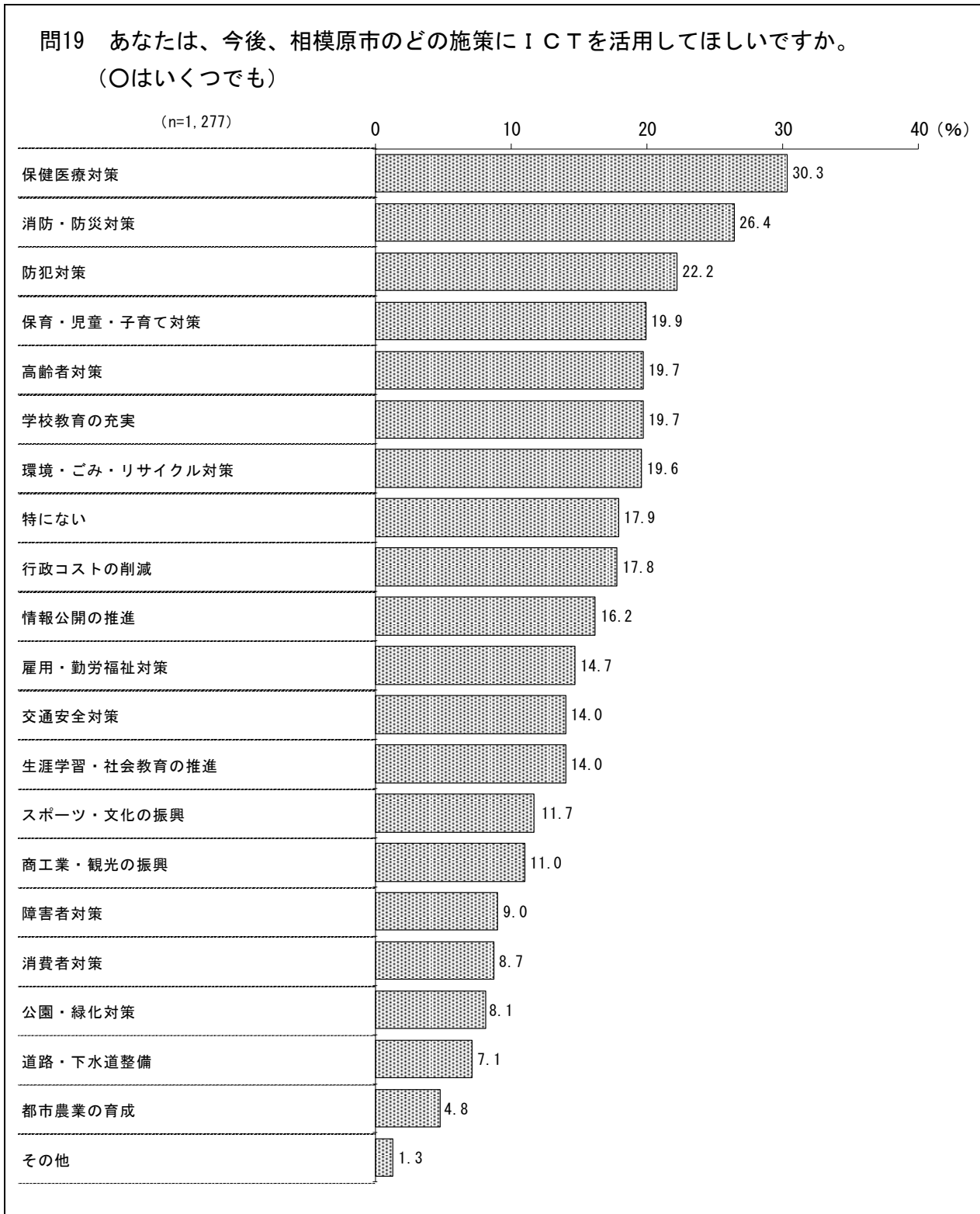


(3) 相模原市にICTを活用してほしい施策

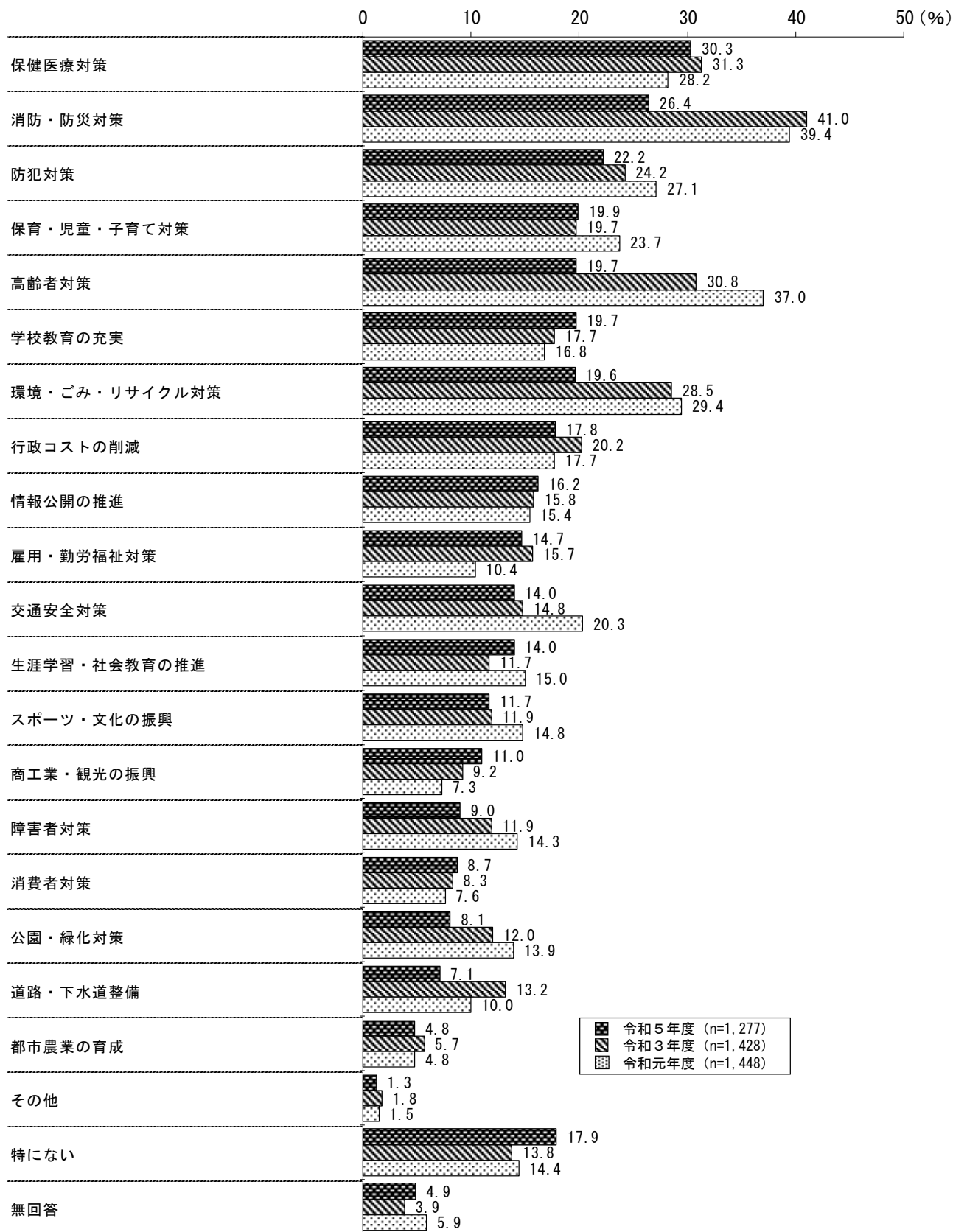


今後、相模原市のどの施策にICTを活用してほしいかたずねたところ、「保健医療対策」(30.3%)が約3割で最も高く、次いで、「消防・防災対策」(26.4%)、「防犯対策」(22.2%)、「保育・児童・子育て対策」(19.9%)、「高齢者対策」、「学校教育の充実」(各19.7%)、「環境・ごみ・リサイクル対策」(19.6%)と続いている。

＜経年比較＞

過去の調査結果と比較すると、「消防・防災対策」は令和3年度から14.6ポイント減少している。また、「高齢者対策」は令和3年度より11.1ポイント減少、「環境・ごみ・リサイクル対策」は令和3年度より8.9ポイント減少している。

コロナ禍で「保健医療対策」への関心が高まるとともに、相対的に順位が変動した。



<性別・性／年齢別・区別結果> (上位10項目)

性別でみると、各項目に大きな差はみられなかった。

性／年齢別でみると、「保健医療対策」は男女ともに60～69歳で4割前後と高くなっている。「保育・児童・子育て対策」は女性30～39歳が56.0%、男性40～49歳が40.3%と高くなっている。「高齢者対策」は、男性70歳以上が34.1%に対して、女性70歳以上は24.6%であり、9.5ポイントの差がみられた。

区別でみると、中央区と南区では、「保健医療対策」の割合が高く、3割台となっている。

